



2021年2月10日

2020年12月期 第4四半期決算説明資料



目次

1. 本日のサマリー・トピックス	・・・ P.3
2. 2020年第4四半期決算 ハイライト	・・・ P.16
3. 2020年第4四半期決算 実績（地域別）	・・・ P.19
4. 2021年通期 見通し	・・・ P.29
5. 参考データ	
- (1) 2020年通期決算 ハイライト	・・・ P.36
- (2) 2020年通期決算 実績（地域別）	・・・ P.40
- (3) 調整項目の内訳	・・・ P.44
- (4) 主要な経営指標	・・・ P.49

本資料の開示データについて

- 短信ベース・実質ベースの2通りで記載
- 実質ベースとは、継続的な事業の収益力の前年からの変化を示すため、M&Aによる新規連結影響や一時的な要因により発生した損益を調整して算出
- 本資料における定性情報は、基本的に実質ベースで記載
- 実質ベースにおける主な調整項目は下記の通り。詳細はP.44以降に記載
(為替影響、補助金・保険金他(補助金収入・保険金収入・固定資産売却益)、M&A関連費用、無形固定資産償却停止、減損損失、新規連結)

1-1. 本日のサマリー (1) 2020年通期

2020年通期 YoY成長率

(短信ベース)

売上収益+12.9%

営業利益+11.4%

(実質ベース)

売上収益-0.1%

営業利益-18.5%

◆短信ベースでは、2020年は各地でコロナ影響を大きく受けるも、DuluxGroup社やBetek Boya社の通年寄与※や、3Q以降の中国を中心とした回復により、コロナ禍にも関わらず過去最高の売上収益(7,811億円)・営業利益(869億円)を達成

<主要因>

- ◆NIPSEA中国は、消費者センチメントの改善に伴い2Qより増収達成
- ◆Betek Boya社は、1Qからの好調な市況や拡販策が奏功し増収
- ◆DuluxGroup社は、既存住宅の塗り替え需要が通年で継続し増収
- ◆日本は、コロナ影響からの回復の遅れや人件費等の増加で減収減益

2020年通期 計画比(11月)

(短信ベース)

売上収益+2.8%

営業利益+14.4%

<主要因>

↑国内外における自動車生産台数の回復

↑NIPSEA中国は、新築不動産市場の拡大が継続し需要増加

↑Betek Boya社は、販促活動やインセンティブにより想定以上の売上伸長

◆計画通り、各社広告宣伝費等の販管費を増大するも、売上・利益ともに前回予想より上振れ

1-1. 本日のサマリー (2) 2020年第4四半期

2020年4Q YoY成長率



(短信ベース)

売上収益+11.2%

営業利益+102.0%

(実質ベース)

売上収益+13.6%

営業利益-5.4%

◆NIPSEA中国事業は+22.7%増収、+13.1%増益を達成

(1) Projectは新規等不動産開発の回復継続及び戦略的顧客内でのシェア向上により+34%増収

(2) DIYも需要回復が進み+21%増収

◆自動車用は、国内外の生産台数の回復が前年並みまで回復し、事業全体としても増収に転じる

◆Betek Boya社は販促活動やインセンティブによる売上伸長、DuluxGroup社もコロナ影響による既存住宅の塗り替え需要の継続により、ともに着実に業績貢献

◆両社買収から1年以上が経過し、4Q以降実質ベースにフル寄与

◆日本は、コロナ再拡大に伴う減収影響や人件費・広告宣伝費の増加で減益

◆足元で徐々に原材料価格の上昇が見られるも、前年対比では原材料の調達価格の低減が利益に貢献

1-1. 本日のサマリー (3) 2021年通期予想

2021年 連結業績予想

(短信ベース)

売上収益 8,900億円

営業利益※1 920億円

営業利益※2 870億円

当期利益 670億円



◆2021年はグローバル各地域・事業における順調な成長やアジアJV持分取り込み・新規連結効果により前年比で、売上収益、営業利益とも過去最高を予想

(売上)

◆既存ビジネスの連結売上収益は対前年比約7%成長を見込む
◆引き続き中国を中心にアジア地域での高い成長に加え、グローバルな自動車市場の回復、日本建築市場の回復、欧州Betek Boya社の成長も想定。DuluxGroup社は、前年特需の反動も安定成長し、マージンの上昇を見込む

(費用)

◆原材料費率は、現在の市況に鑑み前年対比で若干上昇見込み
◆中長期で持続的成長を図るため、日本国内で積極投資を推進
◆なお、印紙税等のアジア一体化に伴う費用を中心に約50億円の一過性費用を想定

2021年 EPS予想

29.17円



◆EPS (分割後) は29.17円を予想

◆年間配当金 (分割後) は10円 (記念配当1円を含む) を予想

※分割考慮前は普通配当45円、記念配当5円

1-2. 2021年通期予想 インドネシア事業・インド事業

インドネシア (参考値)	(億円)	2019年 実績	2020年 実績	2021年 見通し
	売上収益	339	303	+10~15%
	営業利益	103	102	
	営業利益率	30.3%	33.8%	30~35%

インド (参考値)	(億円)	2019年 実績	2020年 実績	2021年 見通し
	売上収益	196	171	+15~20%
	営業利益	2	0	
	営業利益率	1.1%	0.3%	0~5%

※2019年及び2020年実績はプロフォーマ値
 ※為替レート ・1インドルピー=1.58円 想定
 ・1インドネシアルピア=0.0074円 想定

2020年 実績 (ご参考)

- ・インドネシアは、コロナ影響により、経済成長のけん引役である家計消費が落ち込み減収減益となるものの、建築用・工業用ともにマーケットシェアは拡大
- ・インドは、南部を中心にコロナ影響が深刻化したことにより、減収減益

2021年 計画

- ・インドネシアは、コロナ影響からの回復やCCM※の普及拡大により、増収増益
- ・インドは、市場回復に加え、製品販売の強化により、増収増益

1-3. 主要地域の市況・業況のサマリー (1)

主要地域の市況・業況

日本	汎 用: 4Qは、11月後半よりコロナ再拡大の影響により低調に推移。21年度は、マーケティングプロモーションへの注力や、新規機能製品・高収益製品の開発拡充により、+10%前後の増収を見込む 工業用: 4Qは、各分野においてコロナ影響から徐々に回復するも、市況低迷は継続。21年度は、農機・建機向け等の各事業の回復に加え、粉体塗料事業での拡大推進によるシェア向上により、+15%前後の増収を見込む
NIPSEA 中国	汎 用: 4Qは、3Qから続く既存住宅の塗り替え需要の回復、消費者マインドの改善により、前期比+21%と増収。21年度は、高付加価値製品の供給や販売チャネルの拡充により、+10%前後の増収を見込む 汎 用: 4Qは、新築不動産建設の回復継続及び戦略的顧客内でのシェア向上により、前期比+34%の増収。戦略的顧客への注力を継続。21年度は、前期施策に加え、製品の拡充を行うことで、+20%前後の増収を想定
アジア (NIPSEA 中国以外)	4Qは、マレーシアグループは、3Q以降のコロナ影響からの回復が進捗し、増収。タイグループも、3Qまで低迷していた自動車生産台数が前年を上回る水準まで回復し、増収に転じる。21年度は、インドネシア及びインドの取り込みに加え、製品ラインナップ拡充の継続や事業環境全体の改善により、増収を見込む

1-3. 主要地域の市況・業況のサマリー (2)

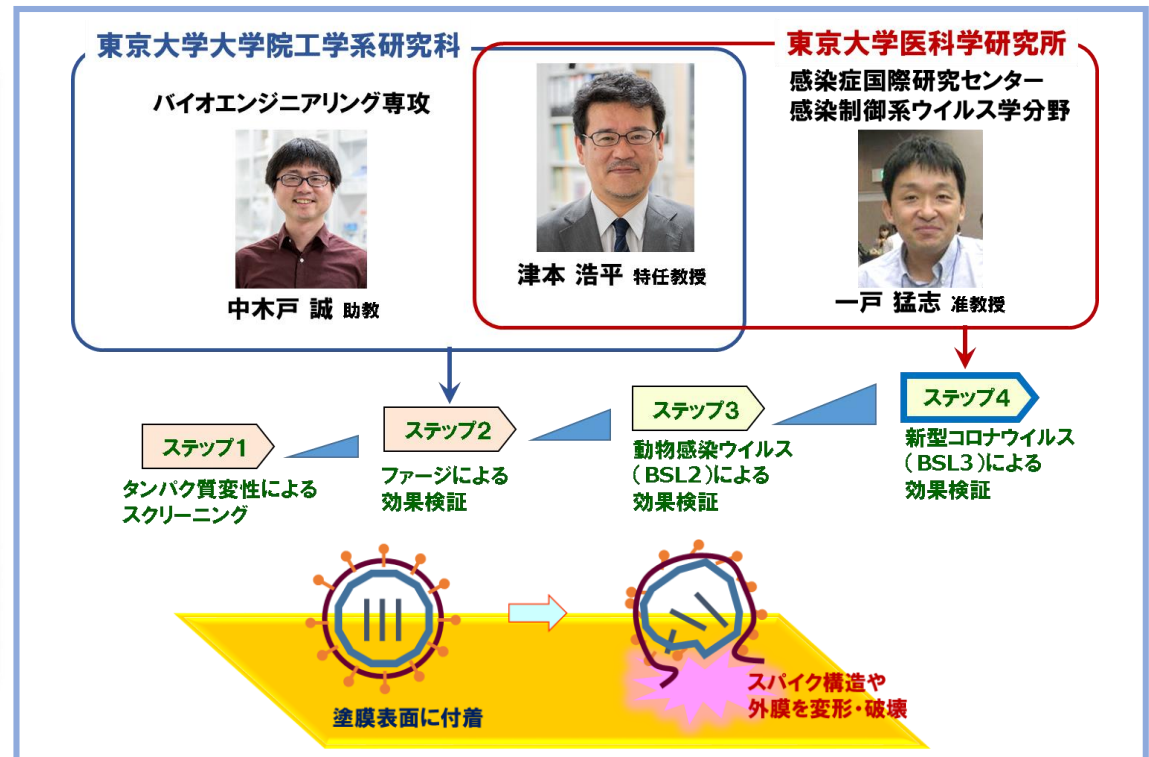
主要地域の市況・業況

オセアニア	4Qは、景気刺激策や低金利を背景にコロナ影響による既存住宅の塗り替え需要が継続し、全事業で増収。21年度は、前年の塗り替え需要が徐々に平準化する見込み
米州 (Dunn-Edwards)	4Qは、政府の低金利政策による好調な新築・中古住宅市況に加え、晴天が継続し、前年比+10.8%増収。21年度は、旺盛な住宅需要の継続に加え、DXの推進や店舗網の充実などにより、増収の見通し
欧州 (Betek Boya)	4Qは、新製品の発売や販促活動の強化、販売店へのインセンティブ増加によるシェア拡大により、前年比+80%と想定より大幅増収。21年度は、新規販売ディーラーの増加や既存販売ディーラーでのシェア向上により、増収を想定
自動車用 事業	日本:4Qは、自動車生産台数が増加に転じ、業績は前年並みまで回復。21年度は、自動車市況の回復継続は想定するも、コロナ影響の不透明さも織り込み、業績は前年並みを想定 NIPSEA:4Qは、政府による各種優遇策等を背景とした日系メーカーの寄与により生産台数が前年比+9%と前年を上回り、+10.6%増収 米州:4Qは顧客の新車在庫積み増しが継続し、自動車生産台数は前年並みまで回復。21年度は、前年コロナ影響による大幅減産の反動により、大きく回復の見通しであり、当社業績も増収の見込み 欧州:4Qは、顧客の自動車生産台数の回復に伴い、増収に転じる。21年度は、米州同様、コロナ影響からの反動により、増収の見込み

1-4. 第3四半期決算発表からの主なトピックス①

産学協創による感染症リスク低減に向けた取り組みが本格化（11月24日発表）

- ・ガーナ大学医学部附属野口記念医学研究所との共同実験にて、可視光応答形光触媒を採用した水性塗料塗膜表面における新型コロナウイルス不活化効果を確認
- ・東京大学との実環境を想定した新型コロナウイルス（含：変異株）に対する効果検証を開始
- ・抗ウイルス機能を可視化する新技術の開発に着手



1-4. 第3四半期決算発表からの主なトピックス②

「PROTECTONインテリアウォールVK-200 DIY用」の販売開始（12月18日発表）

- ・可視光応答形光触媒採用の室内用抗ウイルス・抗菌水性塗料として、作業性及び塗りやすさを更に向上するとともに、一般家庭向けの容量と低価格を実現
- ・9月4日発売「PROTECTONインテリアペイントプレミアム」に続く抗ウイルスDIY塗料の第2弾
- ・業務用「PROTECTONインテリアウォールVK-200」は10月28日から発売



PROTECTONインテリアウォールVK-200 DIY用



【販売サイト】
ニッペホームオンライン
<https://www.nippehome-online.jp/>

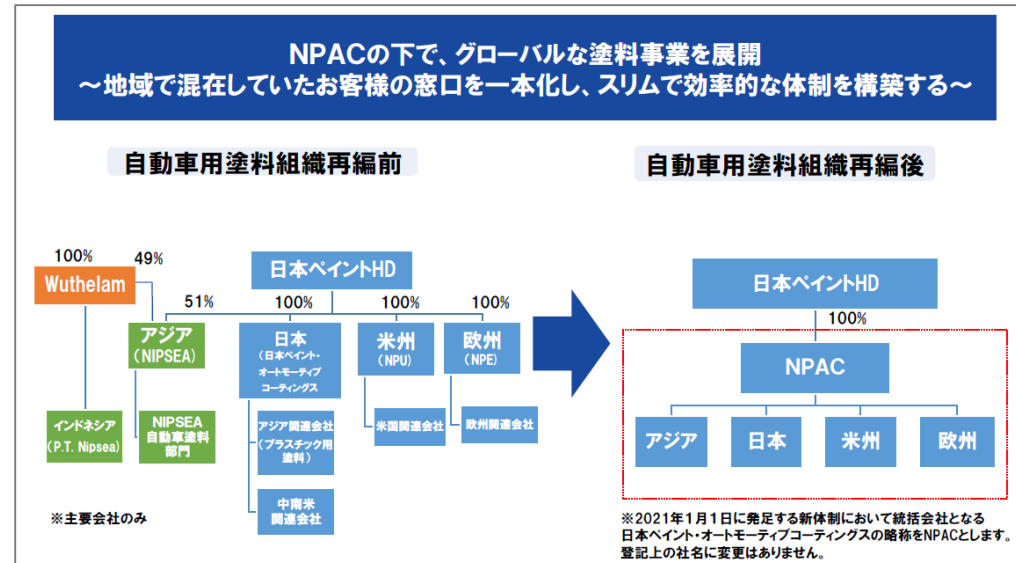
1-4. 第3四半期決算発表からの主なトピックス③

自動車用塗料事業の米州再編完了(1月18日発表)

- ・日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社 (NPAC) の米州自動車用事業の再編を2021年1月1日付で完了
- ・欧州自動車用事業は、2021年7月初旬より新体制での運用を開始予定
- ・グローバルに品質保証体制の大幅な強化を図る
- ・欧州、米州自動車用事業の再編を通じて、より一層お客様のニーズに沿った商品、サービスをワンストップで提供し、自動車用事業でのリーディングカンパニーとなることを目指す



2020年10月1日 開示資料



組織体制

1-4. 第3四半期決算発表からの主なトピックス④

日本ペイントマリン株式会社 業界初のナノ技術を駆使した次世代型加水分解船底防汚塗料「FASTAR」を1月より発売（1月22日発表）

- ・防汚剤の溶出量を従来型と比較して最大50%超削減。海洋環境にやさしい製品
- ・独自の「ウォーターラップ技術」により船舶の燃費を約8%低減。排出CO₂とコスト削減に貢献
- ・塗装工程工数を最大37%削減。改修期間の短縮に貢献
- ・全世界のお客様のESG経営を支えていく製品



FASTAR施工事例



FASTARの塗膜表層

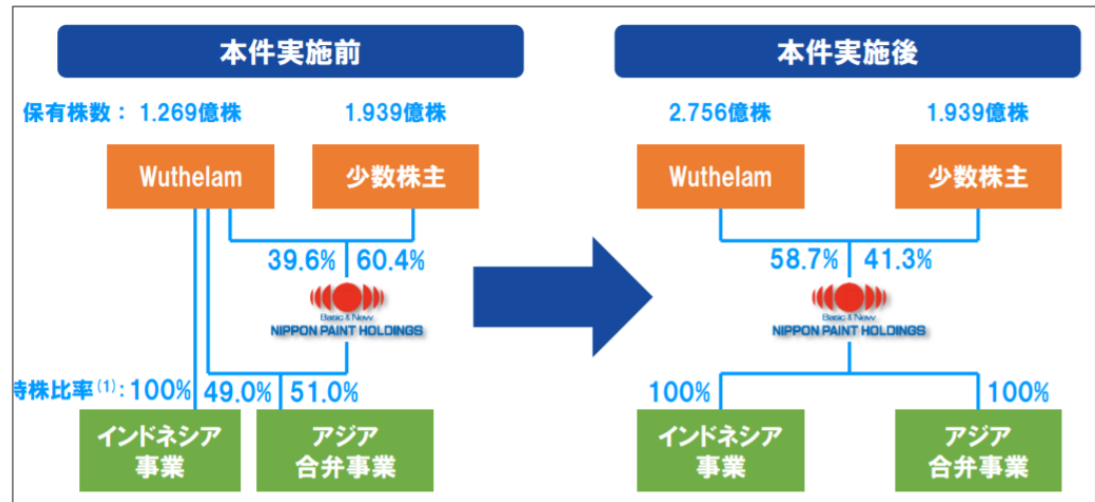
1-4. 第3四半期決算発表からの主なトピックス⑤

アジア合併事業100%化並びにインドネシア事業の買収完了(1月25日発表)

- ・2021年1月25日にクロージング
- ・益々成長するアジア市場の取り込みにより、大幅な利益増・少数株主の利益保護・株主価値最大化を実現



2020年8月21日 説明会資料



資本構成図

1-4. 第3四半期決算発表からの主なトピックス⑥

R&Iの当社発行体格付が「A-」から「A」に引き上げ（2月4日発表）

- ・塗料事業でアジアトップにある当社グループの信用力を反映
- ・Betek Boya社やDuluxGroup社の買収効果もあり、コロナ禍でも全体の収益は堅調に推移
- ・アジア合併事業100%化並びにインドネシア事業の買収などを通じて、財務基盤を拡充させつつ大型の戦略投資を実現していることから、「A」への評価引き上げへつながった



2021年2月4日

各位

会社名 日本ペイントホールディングス株式会社
 代表者名 取締役会長 代表執行役 社長 兼 CEO 田中 正明
 (コード番号: 4612 東証第一部)
 問合せ先 インベスターリレーション部長 田中 良輔
 (TEL.050-3131-7419)

R&Iの当社発行体格付が「A-」から「A」に引き上げ

日本ペイントホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、取締役会長 代表執行役 社長 兼 CEO：田中正明）は、株式会社格付投資情報センター（R&I）による当社の発行体格付が、2021年2月4日付で引き上げられましたのでお知らせいたします。

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A- → A	安定的

このたびの格付の取得は、塗料事業でアジアトップにある当社グループの信用力が反映されています。当社は2021年1月にアジア合併事業100%化ならびにインドネシア事業の買収が完了し、収益源の地域分散を図った上、主力のアジア事業から創出される利益やキャッシュ・フローをほぼ全て取り込むことが可能な体制となりました。2019年にはトルコのBetek Boya社、豪州のDuluxGroup社をそれぞれ買収した効果もあり、コロナ禍でも全体の収益は堅調に推移しています。また、財務健全性に配慮した資金調達を進めた結果、自己資本が強化され、ネットD/Eレシオも改善する見込みであるなど、財務基盤を拡充させつつ大型の戦略投資を実現していることから、「A」への評価引き上げにつながりました。当社は、今後も収益力の向上と財務基盤の強化に取り組み、「株主価値の最大化」を目指していきます。

2021年2月4日 開示資料

1-4. 第3四半期決算発表からの主なトピックス⑦

株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ（2月10日発表）

- ・投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様や当社グループ社員等に投資しやすい環境を整えることで、投資家層の拡大と市場流動性を向上
- ・2021年3月31日を基準日として、1株につき5株の割合で分割
- ・2020年12月期の期末配当金は、1株当たり23円00銭での配当予定に変更なし

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

2021年3月31日（水曜日）を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有普通株式を、1株につき5株の割合をもって分割いたします。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	474,102,443株
今回の分割により増加する株式数	1,896,409,772株
株式分割後の発行済株式総数	2,370,512,215株
株式分割後の発行可能株式総数	5,000,000,000株

(3) 分割の日程

基準日公告日	2021年3月12日（金曜日）
基準日	2021年3月31日（水曜日）
効力発生日	2021年4月1日（木曜日）

2021年2月10日 開示資料



2. 2020年第4四半期決算 ハイライト

写真: NIPSEA/Florentia Village (Guangzhou-Foshan)

2-1. 2020年第4四半期決算 ハイライト

(億円)	短信ベース			実質ベース			
	2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (%)	2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	1,969	2,189	11.2%	1,968	2,236	268	13.6%
営業利益	117	236	102.0%	231	219	-13	-5.4%
営業利益率	5.9%	10.8%	4.9pt	11.7%	9.8%	-	-2.0pt
税引前利益	137	251	83.5%	251	235	-16	-6.4%
四半期利益 [※]	41	130	217.3%	134	128	-6	-4.5%

※親会社の所有者に帰属する四半期利益

売上収益

- ・短信ベースで前年比+11.2%、実質ベースで+13.6%の増収
- ・建築用は、中国は新築不動産建設の回復継続及び戦略的顧客内でのシェア向上によるProjectの成長、DuluxGroup社は塗り替え需要の継続、Betek Boya社は販売店へのインセンティブを含む販促活動を背景に、各地域で増収
- ・自動車用は、各地域において回復が進み、増収に転じる

営業利益

- ・短信ベースで前年比+102.0%の増益、実質ベースで-5.4%の減益
- ・NIPSEA中国及びBetekBoya社の建築用、自動車用の増収効果、原材料調達コストの低減が寄与するも、日本におけるコロナ影響による減収や豪州の成長投資により、減益

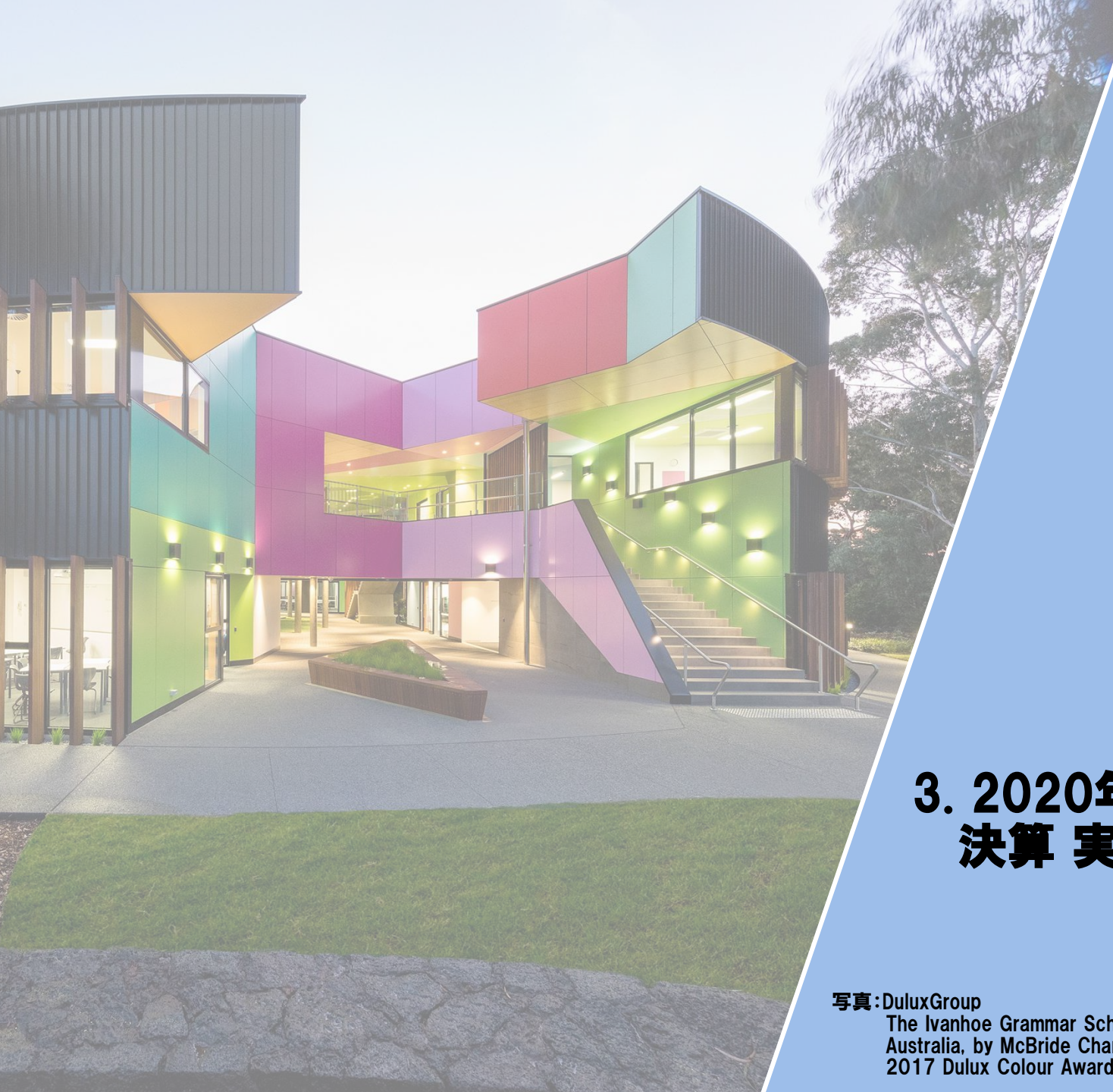
2-2. 決算ハイライト (第4四半期 地域別 売上収益・営業利益)

(億円)		短債ベース			実質ベース			
		2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (%)	2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
日本	売上収益	461	440	-4.5%	461	440	-21	-4.5%
	営業利益※	42	23	-45.7%	52	24	-28	-53.4%
アジア	売上収益	881	1,029	16.7%	880	1,032	152	17.3%
	営業利益	107	165	53.9%	133	141	8	6.1%
オセアニア	売上収益	344	412	19.6%	344	407	63	18.3%
	営業利益	31	24	-21.3%	31	23	-7	-24.4%
米州	売上収益	177	179	1.2%	177	189	12	6.6%
	営業利益	10	11	10.0%	10	12	2	15.3%
その他	売上収益	105	129	22.6%	105	167	62	59.2%
	営業利益	-73	13	-	5	19	14	266.0%
合計	売上収益	1,969	2,189	11.2%	1,968	2,236	268	13.6%
	営業利益	117	236	102.0%	231	219	-13	-5.4%

※海外グループ会社からの配当 (2020年4Q:235億円、2019年4Q:-億円) を除く

主な増減要因

- 日本 :自動車用は市況回復に伴い前年並み、建築用・工業用はコロナ影響が継続。また人件費・広告宣伝費の増加も相まって、減収減益
- アジア :中国で自動車市況の回復が3Q以降継続し、また建築用が2Q以降好調に推移するなど、増収
- オセアニア :既存住宅の塗り替え需要が継続するも、今後の成長に向けた費用の増加で、減益
- その他 (Betek Boya社) :販売店へのインセンティブを含む販促活動の結果、増収

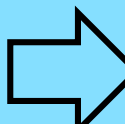


3. 2020年第4四半期 決算実績(地域別)

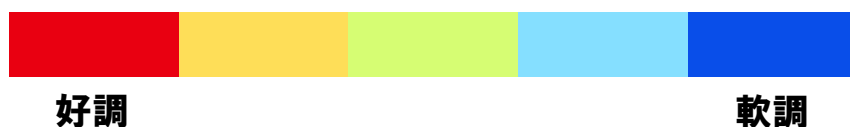
写真:DuluxGroup

The Ivanhoe Grammar School Senior Years and Science Centre, Australia, by McBride Charles Ryan Architects, a finalist in the 2017 Dulux Colour Awards. Photographer: John Gollings.

3-1. 市場環境・事業環境 (第4四半期)

	日本	アジア (NIPSEA中国)		オセアニア	米州
自動車					
建築		DIY 	Project 		

■ 市況 (前年比)



■ 業況 (市場対比) ※



※当社推定

市況分析

- ✓自動車: 自動車生産台数は各地域で回復基調が継続し、4Qの市況は全地域で前年を上回る
- ✓建築: 日本は、11月後半以降より再拡大したコロナ影響により、市況は低調に推移
中国のDIYは、塗り替え現場への立ち入り制限解除に伴う既存住宅の塗り替え需要の継続、Projectは新築不動産建設の回復継続で、それぞれ好調に推移
オセアニアは、景気刺激策や低金利を背景にコロナ影響による既存住宅の塗り替え需要が継続し、好調に推移
米州は、低金利政策により新築・中古住宅市場ともに好調に推移し、更に晴天も継続し、前年を上回る

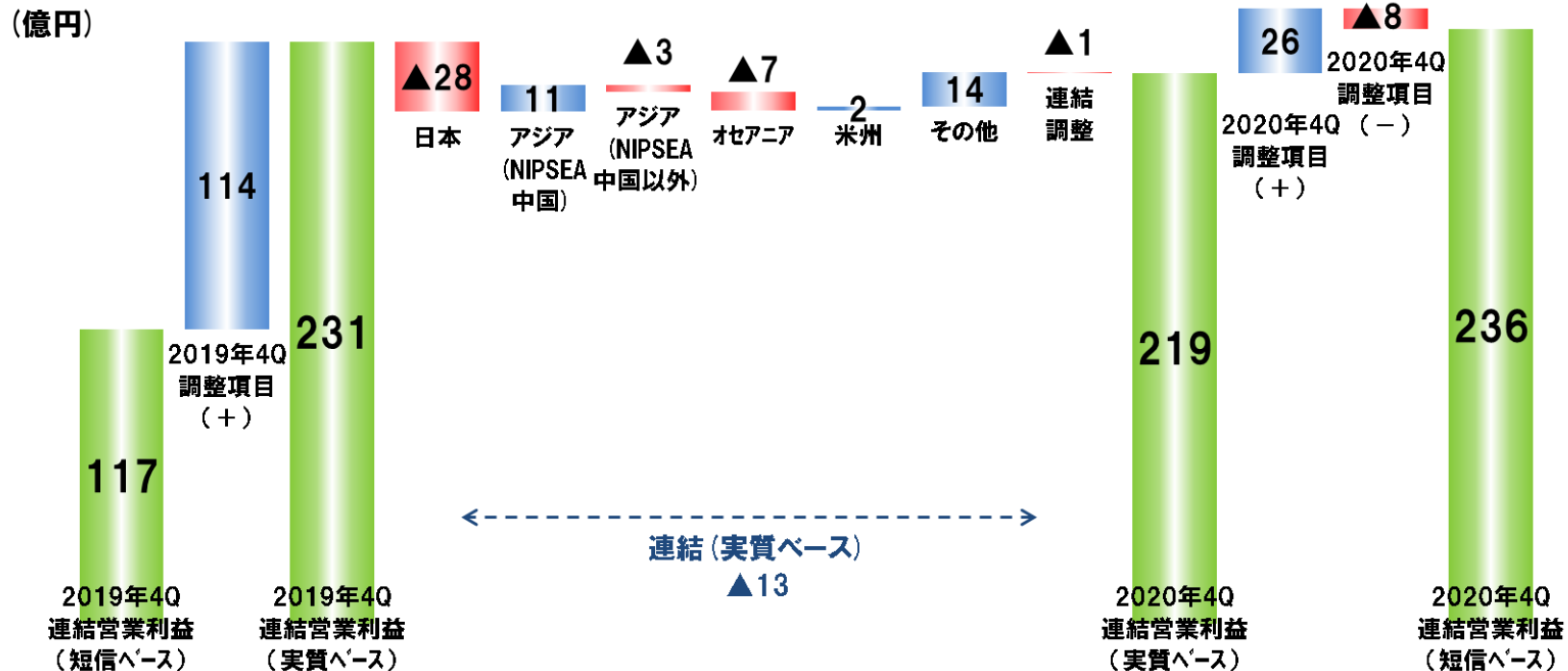
3-2. 中国塗料市場の成長機会拡大（シェア見直し）



Project・DIY市場の変化

- 中国塗料市場は、これまで主に新築住宅で構成されていたが、新たに中古住宅の改装需要が急激に拡大
- これまで対象外であった上記改装需要を加味すると、Project市場は飛躍的に大規模となり、DIY市場も大きく拡大
- 当社としては、市場変化に柔軟に適応し、新たな市場でもマーケットシェア拡大に注力
- 上記背景から、従来定義に基づくマーケットシェアを見直す必要があり、昨年開示したDIY市場シェア36%、Project市場シェア17%の数字は取り下げ、当面定性的な開示を予定

3-3. 決算ハイライト (第4四半期 営業利益増減分析)



主な増減要因

- ✓ 日本: 工業用におけるコロナ影響からの回復遅延に加え、人件費・広告宣伝費の増加により、減益
- ✓ 中国: 汎用においてDIYは既存住宅向け内装塗装需要の回復が継続し、Projectは新築不動産建設の増加とともに好調に推移し、さらに主要原材料の調達コストの低下も寄与し、増益
- ✓ オセアニア: 増収となるも、今後の成長に向けたマーケティングやイノベーション関連の費用が増加し、減益
- ✓ 欧州: 好調な需要に伴うBetek Boya社の業績が、自動車用事業を補完し、増益

3-4. 地域別分析 日本

(億円)		短償ベース			実質ベース			
		2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (%)	2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
売上 収益	自動車用	102	101	-1.0%	102	101	-1	-1.0%
	汎用	118	117	-0.7%	118	117	-1	-0.7%
	工業用	104	94	-9.7%	104	94	-10	-9.7%
	ファインケミカル	21	22	6.0%	21	22	1	6.0%
	その他 ^{※1}	116	105	-8.9%	116	105	-10	-8.9%
	合計	461	440	-4.5%	461	440	-21	-4.5%
営業利益		42	23	-45.7%	52	24	-28	-53.4%
営業利益率		9.1%	5.2%	-3.9pt	11.4%	5.5%	-	-5.8pt

※1 その他には船舶・自動車補修等の事業を含む

主な増減要因

- 自動車用 : コロナ影響からの回復に伴い自動車生産台数が増加(前年同期比+3%^{※2})に転じ、前期並みに回復
- 汎用 : 11月後半より再拡大したコロナ影響などにより、前期並み
- 工業用 : コイル事業などの各分野でコロナ影響からの回復が見られるも、市況低迷は依然継続し、減収
- 営業利益 : 上記減収要因に加え、人件費・広告宣伝費の増加により減益

※2 国内自動車メーカー発表資料より当社集計

3-5. 地域別分析 アジア (NIPSEA中国)

(億円)		短信ベース			実質ベース			
		2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (%)	2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
売上 収益	自動車用	91	102	13.0%	92	102	10	10.6%
	汎用	477	595	24.8%	468	590	122	26.1%
	工業用	40	51	27.0%	44	50	6	13.5%
	その他 ^{※1}	5	7	46.5%	6	7	1	12.1%
	合計	612	755	23.4%	611	749	139	22.7%
営業利益		83	118	41.6%	82	93	11	13.1%
営業利益率		13.6%	15.6%	2.0pt	13.5%	12.4%	-	-1.1pt

※ その他には船舶・自動車補修等の事業を含む

主な増減要因

- 自動車用 : 自動車生産台数は前年比+9%^{※2}と2Q以降の回復基調が継続し、+10.6%増収
- 汎用 : DIYは、3Qより塗り替え現場への立ち入りが解除され、既存住宅向け内装需要の回復が継続し、増収(前年比+21%)
Projectは、戦略的顧客への注力及び同顧客内でのシェア向上に加え、新築不動産建設の回復継続もあり、増収(前年比+34%)
- 工業用 : コロナ影響からの回復や輸入減少により、農機・建機やコイル及び保護コーティングが増加し、+13.5%の増収
- 営業利益 : 増収効果や主要原材料の調達コストの低下等により、増益

※2 中国汽車工業協会

3-6. 地域別分析 アジア (NIPSEA中国以外)

(億円)	短債ベース			実質ベース			
	2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (%)	2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	270	274	1.5%	270	283	13	4.9%
営業利益	24	47	96.3%	50	48	-3	-5.3%
営業利益率	9.0%	17.3%	8.4pt	18.7%	16.9%	-	-1.8pt

主な増減要因

- マレーシアグループ : マレーシア、バングラディッシュ、パキスタン等で経済活動が3Qに再開後、好調に推移し、増収
- シンガポールグループ : スリランカ等では業績が好調に推移した一方、ベトナムはコロナ影響からの回復が遅れ、グループ全体では減収
- タイグループ : 市況全体の回復が遅れ、前年並みに留まる
- 営業利益 : シンガポールグループの減収影響に伴い減益

3-7. 地域別分析 オセアニア

(億円)		短償ベース			実質ベース			
		2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (%)	2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
売上 収益	汎用	180	211	17.4%	180	209	29	16.0%
	工業用	15	15	1.5%	15	15	0	0.3%
	塗料周辺事業	149	185	24.0%	149	183	34	22.8%
	合計	344	412	19.6%	344	407	63	18.3%
営業利益		31	24	-21.3%	31	23	-7	-24.4%
営業利益率		8.9%	5.8%	-3.0pt	8.9%	5.7%	-	-3.2pt
営業利益率 (PPA償却費を除く)		9.7%	6.5%	-3.1pt	9.7%	6.4%	-	-3.3pt

主な増減要因

- 汎用 : 景気刺激策や低金利を背景にコロナ影響による既存住宅の塗り替え需要が継続し、増収
- 塗料周辺事業 : 堅調な塗り替え需要が継続し、前年を上回って推移
- 売上収益 (全体) : 全事業が前年を上回ったことにより、増収
- 営業利益 : 増収となるも、今後の成長に向けたマーケティングやイノベーション関連の費用が増加し、減益

3-8. 地域別分析 米州

(億円)		短信ベース			実質ベース			
		2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (%)	2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
売上 収益	自動車用	62	62	0.8%	62	66	4	6.5%
	汎用	107	113	5.4%	107	118	12	10.8%
	ファインケミカル	8	4	-48.1%	8	5	-4	-44.9%
	その他※	0	0	-4.6%	0	0	0	1.4%
	合計	177	179	1.2%	177	189	12	6.6%
営業利益		10	11	10.0%	10	12	2	15.3%
営業利益率		5.9%	6.4%	0.5pt	5.9%	6.3%	-	0.5pt

※その他には船舶・自動車補修等の事業を含む

主な増減要因

- 自動車用 : 顧客の新車在庫積み増しに向けた生産拡大が継続し、自動車生産台数は前年並みまで回復したことに伴い、増収
- 汎用 : 政府の低金利政策を背景とした好調な新築・中古住宅市場の継続に加え、晴天に恵まれ、増収
- 営業利益 : 自動車用の売上回復に加え、汎用の2019年12月からの値上げに伴う増収効果や、原材料調達価格と販売管理費の低減等が寄与し、増益

3-9. 地域別分析 その他地域

(億円)		短信ベース			実質ベース			
		2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (%)	2019年 4Q	2020年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
売上 収益	自動車用	30	29	-2.1%	30	31	2	6.0%
	汎用	42	48	16.5%	42	68	26	63.6%
	工業用	9	11	26.0%	9	15	6	69.8%
	ファインケミカル	3	5	72.4%	3	5	2	76.8%
	その他※	0	1	-	0	2	2	-
	塗料周辺事業	22	34	54.0%	22	46	24	108.5%
	合計	105	129	22.6%	105	167	62	59.2%
営業利益		-73	13	-	5	19	14	266.0%
営業利益率		-69.4%	10.4%	79.8pt	4.9%	11.3%	-	6.4pt

※その他には船舶・自動車補修等の事業を含む

主な増減要因

- 自動車用 : 顧客の自動車生産台数の回復に伴い、増収に転じる
- Betek : 低金利政策により新築・中古とも住宅販売が好調に推移したことで、塗料需要が増加し、増収
Boya社 (ご参考(短信ベース): 3Q業績: 売上収益113億円、営業利益20億円、
4Q業績: 売上収益95億円、営業利益13億円)
- 営業利益 : Betek Boya社の増収効果により、増益



4. 2021年通期 見通し

写真:日本ペイントマリン
低摩擦塗料 (Low Friction Coating) を塗装した船舶

4-1. 2021年通期 業績予想

(億円)

短信ベース

	2020年 実績	2021年 予想	YoY (%)	YoY (額)
売上収益	7,811	8,900	13.9%	1,089
営業利益 (アジアJV等費用考慮前)	869	920	5.8%	51
営業利益率 (アジアJV等費用考慮前)	11.1%	10.3%	-	-0.8pt
アジアJV等費用	-	-50	-	-
営業利益	869	870	0.1%	1
営業利益率	11.1%	9.8%	-	-1.4pt
当期利益※	446	670	50.1%	224

※親会社の所有者に帰属する当期利益

概要

・グローバル各地域・事業における順調な成長や新規連結効果により、売上収益、営業利益とも過去最高を予想

<連結P/L 為替換算レート>
※期中平均レート

	2020年 通期	2021年 通期
円/米ドル	106.4	105.0
円/人民元	15.4	15.7
円/豪ドル	73.7	75.0

売上収益

- ・既存ビジネスの連結売上収益は対前年比約7%成長を見込む
- ・引き続き中国を中心にアジア地域での高い成長に加え、グローバルな自動車市場の回復、日本建築用市場の回復、欧州Betek Boya社の成長も想定

費用

- ・原材料費率は、現在の市況に鑑み、前年対比で若干上昇を見込む
- ・中長期で持続的成長を図るため、特に日本国内では積極投資を推進。具体的には①DXの推進、②人材・監査機能の強化、③R&Dの強化、④抗ウイルスブランド拡販に向けたマーケティング等を予定
- ・なお、印紙税等のアジア一体化に伴う費用を中心に約50億円の一過性費用を想定

4-2. 市場環境・事業環境（2021年通期）

	日本	アジア（NIPSEA中国）		オセアニア	米州
自動車					
建築		DIY	Project		

■ 市況（前年比）

好調				軟調
----	--	--	--	----

市況分析

- ✓ 自動車：日本は、前4Qからの自動車生産台数の回復が続く想定
中国は、自動車生産台数の回復が継続し、2019年水準まで戻る見通し
米州は、前年コロナ影響による大幅減産の反動により、大きく回復の見通し
- ✓ 建築：日本は、市況全体はコロナ影響からの回復を見通す
中国は、DIY・Project市況ともに、順調な経済市況の継続に伴い、成長の見通し
オセアニアは、コロナ影響による既存住宅の塗り替え需要が3月から徐々に平準化する見込み
米州は、低金利政策の継続に伴う堅調な住宅市場を見込む

4-3. 2021年通期 見通しの諸前提 (1)

日本

	2021年見通し	定性情報
売上収益	+5%前後	
自動車	±0%	自動車市況の回復継続は想定するも、コロナ影響の不透明さも織り込み、業績は前年並みを想定
汎用	+10%前後	DIY事業の巣ごもり需要は平準化するが、市況全体は回復し増収を想定。マーケティングプロモーションや新規機能製品・高収益製品の開発拡充に注力
工業用	+15%前後	コイル事業は2Q以降、農機・建機等の各事業は1Q以降、市況回復を想定。粉体塗料事業での拡大推進によるシェア向上もあり、増収を見込む

NIPSEA中国

	2021年見通し	定性情報
売上収益	+10%前後	
汎用 (DIY)	+10%前後	持続的な市場成長見通しのもと、高付加価値製品の供給や販売チャネルの拡充、ブランドの強化等により、増収を見込む
汎用 (PRJ)	+20%前後	順調な経済市況により、旺盛な建設需要は継続すると見込んでおり、引き続き戦略的顧客への注力や顧客内でのシェア向上、製品の拡充により、着実な成長を見込む
自動車	+5～10%	自動車生産台数の回復により、増収を予想

※数値は現地通貨ベース

4-3. 2021年通期 見通しの諸前提 (2)

アジア (NIPSEA中国以外)

	2021年見通し	定性情報
アジア (NIPSEA 中国以外)	+5～10%	自動車用は、高品質塗料や技術サポートの充実により、顧客との関係を強化。市況は緩やかな回復を想定。建築用は、市況回復を見込み、抗ウイルス製品や Selleys製品の拡充、Project事業を強化し、増収を見込む

(内訳) インドネシア	ご参考 +10～15%	コロナ影響からの回復に加え、CCMや販売網の拡大により、増収増益 (参考値) 2020年度 売上収益303億円、営業利益102億円
(内訳) インド	ご参考 +15～20%	市場回復に加え、製品販売の強化により、大幅な増収増益 (参考値) 2020年度 売上収益171億円、営業利益0億円

オセアニア

売上収益	+0～5%	前年特需の反動も安定成長し、マージンの上昇を見込む
------	-------	---------------------------

※数値は現地通貨ベース

4-3. 2021年通期 見通しの諸前提 (3)

米州

	2021年見通し	定性情報
売上収益	+5%前後	
自動車	+5～10%	前年のコロナ影響による大幅減産の反動により、大きく回復する見通しであり、当社業績も増収の見込み
汎用	+5%前後	20年度から続く政府低金利政策による堅調な住宅需要見通しに加え、DXの推進や店舗網の充実などにより、増収の見通し

その他

自動車	+30%前後	米州同様、コロナからの反動により、大幅な増収の見込み
Betek Boya	+10%前後	経済の回復継続に加え、政府の刺激策等により、引き続き市場は成長する見通し。業績予想は、ブランドや製品ラインナップを拡充し、増収を見込む

原材料費

原材料費	原材料価格は昨年に比べ全地域で上昇傾向。昨今の原油・ナフサ価格の上昇に対して、生産性の向上や購買政策の強化など原価抑制への取り組みでの吸収を目指す
------	---

※数値は現地通貨ベース

4-3. 2021年通期 見通しの諸前提 (4)

		2021年度 見通し	2020年実績 (億円)
日本	売上収益	+5%前後	1,596
	自動車	±0%	347
	汎用	+10%前後	437
	工業用	+15%前後	353
NIPSEA 中国	売上収益	+10%前後	2,681
	汎用 (DIY)	+10%前後	2,160
	汎用 (PRJ)	+20%前後	
	自動車	+5～10%	318
NIPSEA 中国以外	売上収益	+5～10%	885
(内訳) インドネシア	売上収益	ご参考 +10～15%	303
(内訳) インド	売上収益	ご参考 +15～20%	171
オセアニア	売上収益	+0～5%	1,483
米州	売上収益	+5%前後	701
	自動車	+5～10%	210
	汎用	+5%前後	465
その他	自動車	+30%前後	87
	Betek Boya	+10%前後	362

5-(1)

参考データ：

2020年通期決算

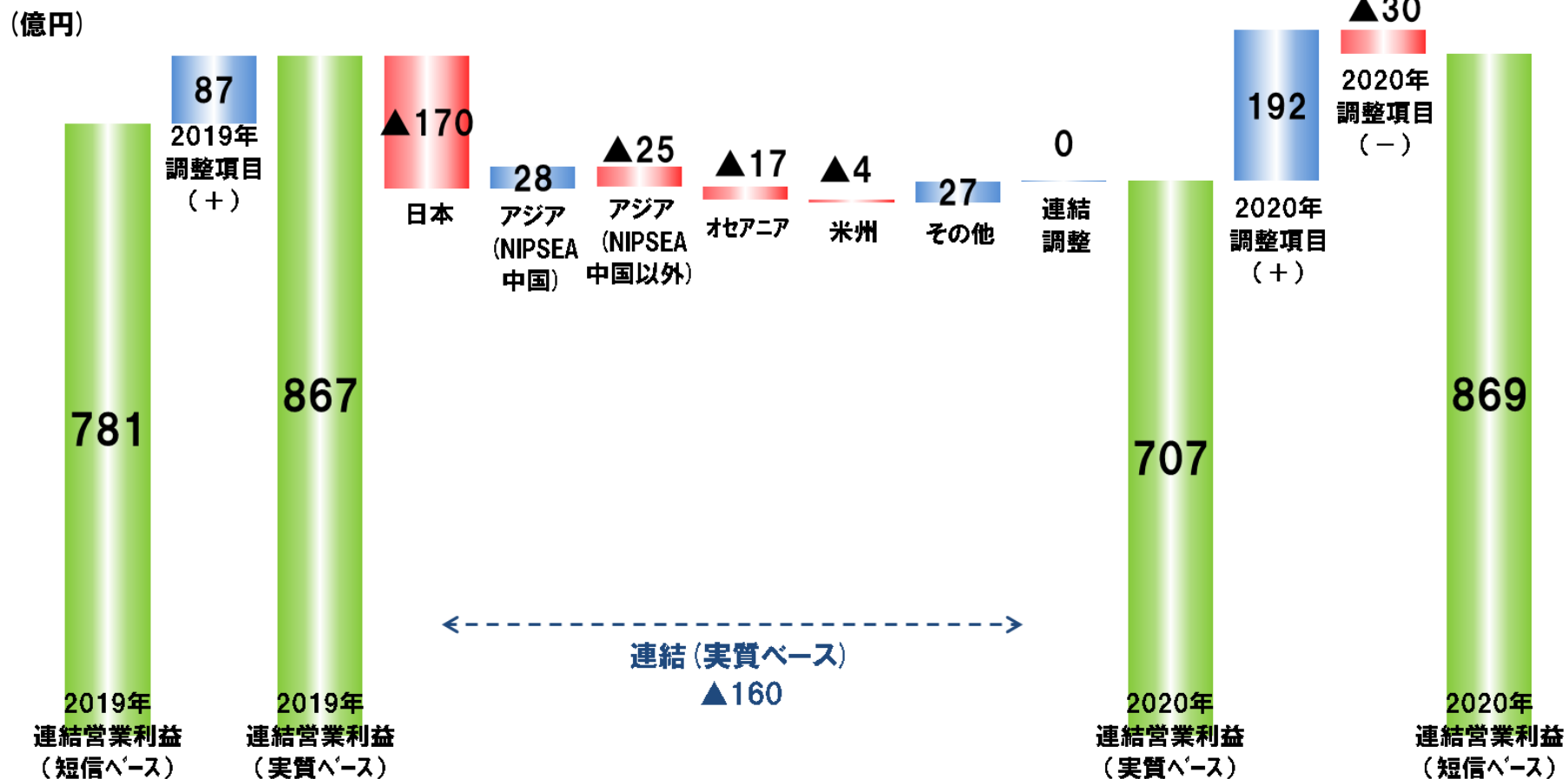
ハイライト

5-(1)-1. 2020年通期 決算ハイライト

(億円)	短信ベース			実質ベース			
	2019年 通期	2020年 通期	YoY (%)	2019年 通期	2020年 通期	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	6,920	7,811	12.9%	6,920	6,912	-7	-0.1%
営業利益	781	869	11.4%	867	707	-160	-18.5%
営業利益率	11.3%	11.1%	-0.2pt	12.5%	10.2%	-	-2.3pt
税引前利益	795	887	11.6%	882	735	-147	-16.7%
当期利益 [※]	367	446	21.6%	455	359	-95	-21.0%

※親会社の所有者に帰属する当期利益

5-(1)-2. 決算ハイライト (通期 営業利益増減分析)



5-(1)-3. 決算ハイライト (通期 地域別 売上収益・営業利益)

(億円)		短信ベース			実質ベース			
		2019年 通期	2020年 通期	YoY (%)	2019年 通期	2020年 通期	YoY (額)	YoY (%)
日本	売上収益	1,826	1,596	-12.6%	1,826	1,596	-230	-12.6%
	営業利益 [※]	234	72	-69.4%	244	74	-170	-69.6%
アジア	売上収益	3,592	3,566	-0.7%	3,592	3,665	74	2.1%
	営業利益	508	550	8.2%	506	509	3	0.7%
オセアニア	売上収益	476	1,483	211.7%	476	545	69	14.5%
	営業利益	59	161	175.0%	59	42	-17	-28.2%
米州	売上収益	746	701	-6.1%	746	722	-24	-3.2%
	営業利益	50	45	-10.0%	50	46	-4	-7.9%
その他	売上収益	280	466	66.2%	280	384	104	37.1%
	営業利益	-70	42	-	8	35	27	317.8%
合計	売上収益	6,920	7,811	12.9%	6,920	6,912	-7	-0.1%
	営業利益	781	869	11.4%	867	707	-160	-18.5%

※海外グループ会社からの配当 (2020年通期:261億円、2019年通期:136億円) を除く

5- (2)

参考データ：

2020年通期決算

実績（地域別）

5-(2)-1. 通期 地域別分析 日本&アジア (NIPSEA中国)

日本

(億円)		短信ベース			実質ベース			
		2019年 通期	2020年 通期	YoY (%)	2019年 通期	2020年 通期	YoY (額)	YoY (%)
売上 収益	自動車用	449	347	-22.7%	449	347	-102	-22.7%
	汎用	482	437	-9.4%	482	437	-46	-9.4%
	工業用	407	353	-13.2%	407	353	-54	-13.2%
	ファインケミカル	87	77	-11.3%	87	77	-10	-11.3%
	その他※	401	382	-4.6%	401	382	-19	-4.6%
	合計	1,826	1,596	-12.6%	1,826	1,596	-230	-12.6%
営業利益		234	72	-69.4%	244	74	-170	-69.6%
営業利益率		12.8%	4.5%	-8.3pt	13.4%	4.7%	-	-8.7pt

アジア (NIPSEA 中国)

(億円)		短信ベース			実質ベース			
		2019年 通期	2020年 通期	YoY (%)	2019年 通期	2020年 通期	YoY (額)	YoY (%)
売上 収益	自動車用	338	318	-6.0%	338	326	-13	-3.7%
	汎用	2,027	2,160	6.6%	2,025	2,214	189	9.3%
	工業用	184	181	-1.7%	185	186	1	0.6%
	その他※	26	23	-11.5%	26	24	-2	-9.1%
	合計	2,575	2,681	4.1%	2,574	2,749	175	6.8%
営業利益		401	439	9.5%	373	401	28	7.6%
営業利益率		15.6%	16.4%	0.8pt	14.5%	14.6%	-	0.1pt

5-(2)-2. 通期 地域別分析 アジア (NIPSEA中国以外) & オセアニア

(億円)

アジア (NIPSEA 中国以外)

	短信ベース			実質ベース			
	2019年 通期	2020年 通期	YoY (%)	2019年 通期	2020年 通期	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	1,017	885	-13.0%	1,017	916	-101	-10.0%
営業利益	107	111	3.4%	133	108	-25	-18.8%
営業利益率	10.5%	12.5%	2.0pt	13.1%	11.8%	-	-1.3pt

(億円)

オセアニア

		短信ベース			実質ベース			
(億円)		2019年 通期	2020年 通期	YoY (%)	2019年 通期	2020年 通期	YoY (額)	YoY (%)
売上 収益	汎用	246	771	213.8%	246	278	32	13.1%
	工業用	20	57	183.4%	20	20	0	2.2%
	塗料周辺事業	210	655	211.9%	210	246	36	17.2%
	合計	476	1,483	211.7%	476	545	69	14.5%
営業利益		59	161	175.0%	59	42	-17	-28.2%
営業利益率		12.3%	10.9%	-1.4pt	12.3%	7.7%	-	-4.6pt
営業利益率 (PPA償却費を除く)		13.1%	11.6%	-1.5pt	13.1%	8.4%	-	-4.7pt

5-(2)-3. 通期 地域別分析 米州 & その他地域

米州

(億円)		短信ベース			実質ベース			
		2019年 通期	2020年 通期	YoY (%)	2019年 通期	2020年 通期	YoY (額)	YoY (%)
売上 収益	自動車用	259	210	-18.8%	259	219	-40	-15.5%
	汎用	454	465	2.4%	454	477	23	5.1%
	ファインケミカル	31	24	-24.2%	31	24	-7	-22.2%
	その他※	2	2	-7.2%	2	2	-0	-4.7%
	合計	746	701	-6.1%	746	722	-24	-3.2%
営業利益		50	45	-10.0%	50	46	-4	-7.9%
営業利益率		6.7%	6.4%	-0.3pt	6.7%	6.4%	-	-0.3pt

その他 地域

(億円)		短信ベース			実質ベース			
		2019年 通期	2020年 通期	YoY (%)	2019年 通期	2020年 通期	YoY (額)	YoY (%)
売上 収益	自動車用	118	87	-25.7%	118	93	-25	-21.3%
	汎用	88	210	138.3%	88	155	67	75.9%
	工業用	18	37	103.7%	18	29	11	57.8%
	ファインケミカル	10	15	41.9%	10	15	5	44.6%
	その他※	0	4	-	0	4	4	-
	塗料周辺事業	46	112	146.3%	46	89	43	94.5%
	合計	280	466	66.2%	280	384	104	37.1%
営業利益		-70	42	-	8	35	27	317.8%
営業利益率		-24.9%	9.0%	33.9pt	3.0%	9.2%	-	6.2pt

5- (3)

参考データ：
調整項目の内訳

5-(3)-1. 調整項目の内訳 (第4四半期 FY2019 vs FY2020)

(億円)		2019年 4Q							2020年 4Q						
		為替 影響	補助金 保険金他	M&A 関連費用	無形償却 停止	減損 損失	新規連結 影響	合計	為替 影響	補助金 保険金	M&A 関連費用	無形償却 停止	新規連結 影響	合計	
日本	自動車用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	汎用(建築・重防食)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	営業利益	-	-	-2	-	-8	-	-11	-	0	-2	-	-	-2	
オセア ニア	汎用	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	
	工業用	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	
	塗料周辺事業	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	
	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4	
	営業利益	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	
米州	自動車用	-	-	-	-	-	-	-	-4	-	-	-	-	-4	
	汎用(建築)	-	-	-	-	-	-	-	-6	-	-	-	-	-6	
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	-	-	-0	-	-	-	-	-0	
	その他※	-	-	-	-	-	-	-	-0	-	-	-	-	-0	
	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-10	-	-	-	-	-10	
	営業利益	-	-	-	-	-	-	-	-1	-	-	-	-	-1	
その他	自動車用	-	-	-	-	-	-	-	-2	-	-	-	-	-2	
	汎用	-	-	-	-	-	-	-	-20	-	-	-	-	-20	
	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-4	-	-	-	-	-4	
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	-	-	-0	-	-	-	-	-0	
	その他※	-	-	-	-	-	-	-	-0	-	-	-	-	-0	
	塗料周辺事業	-	-	-	-	-	-	-	-12	-	-	-	-	-12	
	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-39	-	-	-	-	-39	
	営業利益	-	-	-	-	-78	-	-78	-5	0	-	-	-	-5	

※その他には船舶・自動車補修等の事業を含む

5-(3)-2. 調整項目の内訳 (第4四半期 FY2019 vs FY2020)

(億円)		2019年 4Q							2020年 4Q						
		為替 影響	補助金 保険金他	M&A 関連費用	無形償却 停止	減損 損失	新規連結 影響	合計	為替 影響	補助金 保険金	M&A 関連費用	無形償却 停止※2	新規連結 影響	合計	
アジア	自動車用	-2	-	-	-	-	-	-2	-3	-	-	-	-	-3	
	汎用(建築・重防食)	9	-	-	-	-	-	9	1	-	-	-	-	1	
	工業用	-4	-	-	-	-	-	-4	-0	-	-	-	-	-0	
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	-	-	-0	-	-	-	-	-0	
	その他※1	-1	-	-	-	-	-	-1	-1	-	-	-	-	-1	
	売上収益	1	-	-	-	-	-	1	-4	-	-	-	-	-4	
	営業利益	-	1	-	-	-26	-	-25	-1	20	-	6	-	24	
■アジア内訳															
NIPSEA 中国	自動車用	-2	-	-	-	-	-	-2	0	-	-	-	-	0	
	汎用(建築・重防食)	9	-	-	-	-	-	9	5	-	-	-	-	5	
	工業用	-4	-	-	-	-	-	-4	0	-	-	-	-	0	
	その他※1	-1	-	-	-	-	-	-1	0	-	-	-	-	0	
	売上収益	1	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	5	
	営業利益	-	1	-	-	-	-	1	1	19	-	5	-	25	
NIPSEA 中国以外	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-9	-	-	-	-	-9	
	営業利益	-	-	-	-	-26	-	-26	-2	1	-	1	-	-0	
連結合計	売上収益	1	-	-	-	-	-	1	-47	-	-	-	-	-47	
	営業利益	-	1	-2	-	-113	-	-114	-6	20	-2	6	-	18	

※1 その他には船舶・自動車補修等の事業を含む

※2 商標権の耐用年数の見直しに伴い、短信ベースの償却費が約6億円(NIPSEA中国約5億円、NIPSEA中国以外約1億円)減少

5-(3)-3. 調整項目の内訳 (通期 FY2019 vs FY2020)

(億円)		2019年 通期							2020年 通期						
		為替 影響	補助金 保険金他	M&A 関連費用	無形償却 停止	減損 損失	新規連結 影響	合計	為替 影響	補助金 保険金	M&A 関連費用	無形償却 停止	新規連結 影響	合計	
日本	自動車用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	汎用(建築・重防食)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	営業利益	-	20	-22	-	-8	-	-10	-	2	-5	-	-	-3	
オセア ニア	汎用	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	491	493	
	工業用	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	36	36	
	塗料周辺事業	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	407	409	
	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	934	938	
	営業利益	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	118	119	
米州	自動車用	-	-	-	-	-	-	-	-8	-	-	-	-	-8	
	汎用(建築)	-	-	-	-	-	-	-	-12	-	-	-	-	-12	
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	-	-	-1	-	-	-	-	-1	
	その他※	-	-	-	-	-	-	-	-0	-	-	-	-	-0	
	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-21	-	-	-	-	-21	
	営業利益	-	-	-	-	-	-	-	-1	-	-	-	-	-1	
その他	自動車用	-	-	-	-	-	-	-	-5	-	-	-	-	-5	
	汎用	-	-	-	-	-	-	-	-38	-	-	-	93	55	
	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-7	-	-	-	15	8	
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	-	-	-0	-	-	-	-	-0	
	その他※	-	-	-	-	-	-	-	-1	-	-	-	1	0	
	塗料周辺事業	-	-	-	-	-	-	-	-21	-	-	-	45	24	
	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-72	-	-	-	154	82	
	営業利益	-	-	-	-	-78	-	-78	-11	2	-	-	16	7	

※その他には船舶・自動車補修等の事業を含む

5-(3)-4. 調整項目の内訳 (通期 FY2019 vs FY2020)

(億円)		2019年 通期							2020年 通期						
		為替 影響	補助金 保険金他	M&A 関連費用	無形償却 停止	減損 損失	新規連結 影響	合計	為替 影響	補助金 保険金	M&A 関連費用	無形償却 停止※2	新規連結 影響	合計	
アジア	自動車用	-0	-	-	-	-	-	-0	-17	-	-	-	-	-17	
	汎用(建築・重防食)	1	-	-	-	-	-	1	-69	-	-	-	-	-69	
	工業用	-0	-	-	-	-	-	-0	-6	-	-	-	-	-6	
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	-	-	-2	-	-	-	-	-2	
	その他※1	0	-	-	-	-	-	0	-5	-	-	-	-	-5	
	売上収益	1	-	-	-	-	-	1	-99	-	-	-	-	-99	
	営業利益	-	28	-	-	-26	-	2	-15	32	-	23	-	40	
■アジア内訳															
NIPSEA 中国	自動車用	-0	-	-	-	-	-	-0	-8	-	-	-	-	-8	
	汎用(建築・重防食)	1	-	-	-	-	-	1	-55	-	-	-	-	-55	
	工業用	-0	-	-	-	-	-	-0	-5	-	-	-	-	-5	
	その他※1	0	-	-	-	-	-	0	-1	-	-	-	-	-1	
	売上収益	1	-	-	-	-	-	1	-68	-	-	-	-	-68	
	営業利益	-	28	-	-	-	-	28	-11	29	-	21	-	38	
NIPSEA 中国以外	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-31	-	-	-	-	-31	
	営業利益	-	-	-	-	-26	-	-26	-3	3	-	3	-	2	
連結合計	売上収益	1	-	-	-	-	-	1	-189	-	-	-	1,088	899	
	営業利益	-	48	-22	-	-113	-	-87	-25	36	-5	23	134	162	

※1 その他には船舶・自動車補修等の事業を含む

※2 商標権の耐用年数の見直しに伴い、短信ベースの償却費が約23億円(NIPSEA中国約21億円、NIPSEA中国以外約3億円)減少

5- (4)

参考データ：

主要な経営指標

5-(4)-1. 地域別 売上収益・営業利益推移①

(億円)		2018年 (IFRS)				2019年 (IFRS)				2020年 (IFRS)			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
日本	自動車用	115	111	106	121	119	114	113	102	103	55	88	101
	汎用(建築・重防食)	106	120	112	130	110	128	126	118	103	111	106	117
	工業用	95	100	100	112	100	102	101	104	91	84	85	94
	ファインケミカル	22	22	21	24	22	22	22	21	20	17	18	22
	その他*	91	106	107	107	88	96	101	116	85	90	102	105
	売上収益	430	459	447	493	438	463	464	461	401	357	399	440
	営業利益	87	73	59	76	81	60	52	42	31	-2	20	23
	営業利益率	20.3%	15.9%	13.3%	15.5%	18.4%	12.9%	11.3%	9.1%	7.7%	-0.5%	4.9%	5.2%
オセアニア	汎用	-	-	-	-	-	-	66	180	170	189	200	211
	工業用	-	-	-	-	-	-	5	15	13	12	16	15
	塗料周辺事業	-	-	-	-	-	-	61	149	135	149	186	185
	売上収益	-	-	-	-	-	-	131	344	318	350	403	412
	営業利益	-	-	-	-	-	-	28	31	35	48	54	24
	営業利益率	-	-	-	-	-	-	21.4%	8.9%	11.0%	13.7%	13.4%	5.8%
米州	自動車用	72	70	65	67	67	67	63	62	60	25	64	62
	汎用(建築)	100	120	117	109	99	127	121	107	109	120	124	113
	ファインケミカル	7	8	8	8	8	8	7	8	7	6	6	4
	その他*	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0
	売上収益	179	198	190	185	175	203	191	177	176	151	194	179
	営業利益	9	20	13	7	6	21	13	10	8	4	22	11
	営業利益率	5.2%	10.2%	7.1%	3.8%	3.6%	10.2%	6.7%	5.9%	4.7%	2.4%	11.2%	6.4%
その他	自動車用	36	32	28	33	32	30	26	30	26	9	23	29
	汎用	-	-	-	-	-	-	47	42	52	41	68	48
	工業用	1	1	0	1	1	0	8	9	8	7	10	11
	ファインケミカル	2	1	2	2	2	3	3	3	3	4	3	5
	その他*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1
	塗料周辺事業	-	-	-	-	-	-	23	22	20	25	33	34
	売上収益	39	34	30	36	35	33	107	105	110	86	140	129
	営業利益	1	1	-2	-6	-1	-3	8	-73	8	1	19	13
	営業利益率	3.4%	2.3%	-6.0%	-15.5%	-2.6%	-10.4%	7.1%	-69.4%	7.3%	1.3%	13.9%	10.4%

※その他には船舶・自動車補修等の事業を含む

5-(4)-2. 地域別 売上収益・営業利益推移②

(億円)		2018年 (IFRS)				2019年 (IFRS)				2020年 (IFRS)			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
アジア	自動車用	185	196	176	185	165	172	159	175	124	114	157	190
	汎用(建築・重防食)	546	622	640	502	543	656	653	585	405	660	753	708
	工業用	64	76	75	63	65	68	66	57	51	58	67	68
	ファインケミカル	16	18	17	15	15	16	15	16	12	11	14	17
	その他※	33	37	38	53	37	39	42	49	32	37	42	46
	売上収益	844	949	947	818	825	952	934	881	624	881	1,033	1,029
	営業利益	121	136	148	119	115	142	144	107	70	143	171	165
営業利益率		14.3%	14.3%	15.7%	14.6%	13.9%	14.9%	15.4%	12.2%	11.2%	16.2%	16.6%	16.1%
■アジア内訳													
NIPSEA 中国	自動車用	102	110	88	94	82	90	75	91	55	75	85	102
	汎用(建築・重防食)	434	522	532	403	443	554	553	477	315	598	652	595
	工業用	46	58	58	46	46	50	48	40	33	47	51	51
	その他※	4	4	5	10	8	7	7	5	4	6	7	7
	売上収益	586	694	683	554	579	702	683	612	406	725	795	755
	営業利益	87	106	113	78	91	114	113	83	47	139	135	118
営業利益率		14.9%	15.2%	16.6%	14.1%	15.7%	16.2%	16.6%	13.6%	11.5%	19.2%	17.0%	15.6%
NIPSEA 中国以外	売上収益	259	255	263	264	246	251	251	270	217	156	238	274
	営業利益	33	30	35	41	24	28	30	24	23	4	36	47
	営業利益率	13.0%	11.8%	13.4%	15.7%	9.8%	11.3%	12.2%	9.0%	10.7%	2.5%	15.2%	17.3%
連結合計	売上収益	1,492	1,640	1,613	1,532	1,474	1,651	1,827	1,969	1,629	1,825	2,169	2,189
	営業利益	219	230	219	197	201	218	244	117	152	194	286	236
	営業利益率	14.7%	14.0%	13.6%	12.9%	13.6%	13.2%	13.4%	5.9%	9.4%	10.6%	13.2%	10.8%

※その他には船舶・自動車補修等の事業を含む

5-(4)-3. 財政状態計算書

(億円)

資産の部	2019年 12月末	2020年 12月末	増減	負債及び資本の部	2019年 12月末	2020年 12月末	増減
流動資産 合計	5,072	6,435	1,363	負債 合計	7,907	9,156	1,249
現金及び現金同等物	1,233	2,321	1,088	流動負債 合計	5,981	3,155	-2,826
棚卸資産	929	941	12	営業債務及びその他の債務	1,533	1,615	82
営業債権及びその他の債権	2,128	2,320	192	社債及び借入金	3,840	681	-3,159
その他	782	853	71	その他	608	859	251
				非流動負債 合計	1,925	6,000	4,075
非流動資産 合計	9,714	9,719	5	社債及び借入金	581	4,676	4,095
有形固定資産	2,403	2,483	80	退職給付に係る負債	244	208	-36
のれん	4,271	4,242	-29	その他	1,100	1,116	17
その他の無形資産	2,310	2,301	-9	資本 合計	6,880	6,998	118
その他の金融資産	544	499	-44	親会社の所有者に帰属する持分	5,529	5,684	155
その他	187	194	7	利益剰余金	4,119	4,446	327
				その他	1,410	1,238	-172
				非支配持分	1,351	1,314	-36
資産 合計	14,786	16,154	1,367	負債及び資本 合計	14,786	16,154	1,367

✓流動資産:アジア合併事業100%化並びにインドネシア事業の買収に関し、2020年12月末に実施した1,000億円の銀行借り入れにより、現金及び現金同等物が増加

✓負債:2019年6月に契約締結した銀行借り入れに関し、2020年3月に長期へ借り換えたことで、流動負債が減少し、非流動負債が増加

5-(4)-4. 設備投資・減価償却費・研究開発費等

<設備投資・減価償却費・研究開発費>

(億円)		2019年 通期	2020年 通期
設備投資	有形固定資産	326	353
	無形資産	27	36
	合計	353	389
減価償却費	有形固定資産	183	232
	無形資産	75	63
	合計	258	295
研究開発費		174	184

<主要指標>

	2019年 12月末	2020年 12月末
親会社所有者帰属持分比率(%)	37.4	35.2
社債及び借入金(億円)	4,422	5,358
現金及び現金同等物(億円)	1,233	2,321
EPS(円)	114.5	139.2

5-(4)-5. 為替レート・市況

<連結P/L 為替換算レート>

	2019年 通期	2020年 通期	2021年 通期
円/米ドル	109.2	106.4	105.0
円/人民元	15.8	15.4	15.7
円/豪ドル	74.7	73.7	75.0
円/トルコ	18.9	15.2	
※期中平均レート			

<連結財政状態計算書 為替換算レート>

	2019年 12月末	2020年 12月末
円/米ドル	109.5	103.5
円/人民元	15.7	15.9
円/豪ドル	76.5	78.9
円/トルコ	18.4	14.0
※期末日レート		

<塗料市況>

	2018年					2019年					2020年				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
日本-出荷数量※1	44	43	44	47	178	43	43	43	43	172	40	36	38	29	143

※1 日本塗料工業会発表、2020年4Qは10-11月、通期は1-11月

<自動車生産台数※2>

＜自動車生産台数＞※2)		2018年					2019年					2020年				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
日本		241	220	218	244	924	243	230	229	220	922	225	119	200	227	771
中国		702	703	640	732	2,777	634	579	602	757	2,572	347	664	687	824	2,522
北米	アメリカ	288	282	259	274	1,103	287	285	266	255	1,093	253	96	274	257	880
	メキシコ	97	100	100	96	393	99	99	95	82	375	91	26	90	91	298
	カナダ	53	54	44	49	200	48	51	46	47	192	38	17	41	41	138
	合計	438	436	403	419	1,696	435	435	407	384	1,660	382	140	405	389	1,316

※2 日本:2018-19年はマークラインズ発表、2020年は国内自動車メーカー発表資料より当社集計、中国:中国汽車工業協会、北米: IHS Markit

<その他の市況・日本>

	2018年					2019年					2020年				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
新設住宅着工戸数(万戸)※3	20.5	24.5	24.6	24.6	94.2	21.6	23.4	23.3	22.3	90.5	19.4	20.4	21.0	20.7	81.5
建設機械生産台数(万台)※4	9.7	9.9	10.0	11.1	40.7	10.5	10.5	10.1	8.1	39.2	9.6	8.4	8.4	6.6	33.0
工作機械生産台数(万台)※5	2.7	2.0	1.9	1.8	8.5	1.8	1.6	1.5	1.3	6.2	1.2	1.0	1.1	0.8	4.1

※3 国土交通省発表 ※4 日本建設機械工業会発表、2020年4Qは10-11月、通期は1-11月 ※5 日本工作機械工業会発表、2020年4Qは10-11月、通期は1-11月

ナフサ価格(当社推定)

	2018年					2019年					2020年				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
国産ナフサ	47,900	48,700	53,500	54,200	51,200	41,200	45,400	40,200	41,300	42,000	44,800	25,000	30,200	31,300	32,900



日本ペイントホールディングス株式会社

＜お問い合わせ先＞

日本ペイントホールディングス株式会社

インベスターリレーション部

+81 (0) 50-3131-7419

本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして実際の業績等は、これらと異なる可能性があります。万一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社および情報提供者は一切責任を負わないことをご承知おきください。